

エルラナタマブ（商品名：エルレフィオ皮下注）

【起こる可能性のある副作用】

◎サイトカイン放出症候群(CRS)

- ・ 多くは投与初期に多く認められます。
- ・ 発熱、頭痛、悪寒などの一般的な症状から、低血圧や低酸素症や臓器障害など重度の副作用があらわれることもあるため、注意が必要です。
- ・ 重度の副作用が生じた場合、酸素吸入や昇圧剤や免疫を抑える薬剤の追加が必要になりますので、速やかに医療機関を受診していただく必要があります。

◎免疫細胞関連神経毒性症候群(ICANS)

- ・ 神経症状(立ちくらみ、力が入らない、言葉が出ない、けいれん、眠気、物忘れ)を発現する可能性があります。
- ・ 症状によっては、ご本人が気づいて誰かに伝えることが難しい場合もあるので、ご家族をはじめとした周囲の方々にも注意していただく必要があります。

◎骨髄抑制

- ・ 白血球/好中球数減少(感染症にかかりやすい、発熱)、血小板減少(鼻血、あざができる、出血しやすい)、貧血(めまい、息切れ、疲れやすい)が起こることがあります。

◎腫瘍崩壊症候群

- ・ がん細胞が破壊されることで、細胞成分が血液中に放出され、さまざまな症状が現れることがあります。
- ・ 症状に応じて尿酸を抑えるお薬や点滴を追加することがあります。

◎肺障害

- ・ 咳(特に痰が出ない咳)、息切れ、発熱が続くなど風邪に似た症状が現れることがあります。

◎注射部位反応

- ・ 注射した部位に赤いはれ、痛み、かゆみなどの皮膚の反応を起こすことがあります。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。